

(様式 1-3)

福島県（川内村）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 31 年 1 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	17	事業名	仮置場環境モニタリングシステム運用事業	事業番号	(3)-23-6
交付団体	川内村	事業実施主体（直接/間接）	川内村（直接）		
総交付対象事業費	(327,713（千円）） 359,108（千円）	全体事業費	(327,713（千円）） 359,108（千円）		
帰還環境整備に関する目標					
<p>本村では、帰村可能な環境を取り戻すため除染作業を実施しましたが、現場から発生した大量の除染廃棄物については仮置場で保管、管理していることから、周辺住民に強い不安を与えており帰村の妨げになっているため、除染廃棄物の搬入が完了した仮置場については、環境モニタリングシステムを設置し、仮置場の状況を情報公開（川内村ホームページにて随時閲覧可能）していくことで、村民の仮置場（除染廃棄物）からの放射線による健康影響の不安払拭を図り、生活環境の安全・安心を確保しながら地域再生を加速化させる。</p>					
事業概要					
<p>環境モニタリングシステムを設置し、仮置場の状況を情報公開（川内村ホームページにて随時閲覧可能）することで、村民の放射線による不安払拭を図り生活環境の安全・安心を確保する。</p> <p>◎『第五次川内村総合計画』</p> <ul style="list-style-type: none">・ P.17 健康で安心して生活できる環境づくり (4)放射線対策の推進 「放射線による健康被害に対する不安を払拭するために、放射線講座の開催や健康相談体制を強化し、内外部被ばく検査や甲状腺検査を実施することで長期的な健康管理と不安解消を図ります。また環境放射線量、井戸水、農産物、自家消費野菜などの放射線モニタリングは随時行っており、広報やホームページで公表しています。」・ P.49 安心・安全な快適環境の村づくり 4-1. 生活環境整備 便利で快適な住民生活を支えるとともに、自然と共生する村を目指して、住民が安全で安心して住める村づくりを推進します。 「安全な飲料水確保のための検査体制を強化します。」					
当面の事業概要					
<p>(平成 31 年度)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 鍋倉仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式・ 大津辺仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式・ 貝ノ坂仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式・ 糠塚仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式・ 川上仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式・ 牛淵仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式・ 上長網仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式・ 大四郎仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式 <p>(平成 32 年度)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 鍋倉仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式・ 大津辺仮置場環境モニタリングシステム撤去 1 式					

<ul style="list-style-type: none"> ・貝ノ坂仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式 ・糠塚仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式 ・川上仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式 ・牛淵仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式 ・上長網仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式 ・大四郎仮置場環境モニタリングシステム保守・データ管理 1 式

地域の帰還環境整備との関係

環境モニタリングシステムを設置することで、空間放射線量や除染廃棄物の温度状況をリアルタイムに把握すると共に観測データを積み上げることでその推移も含めて、川内村ホームページで公開し仮置場周辺住民の不安払拭を図り地域再生を進める。また、各仮置場の現状を村ホームページにて公開し確認できる状況にあることから、村民の放射線による健康影響の不安払拭を図り生活環境の安全、安心の確保に寄与している。

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性